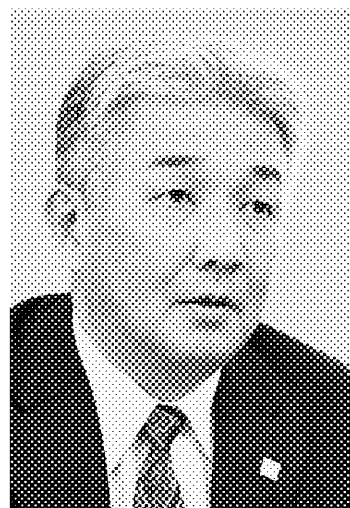


# 地球市場で事業拡大

荏原は2028年12月期を最終年とする3カ年の新中期経営計画を始動した。売上高1兆2000億円規模(25年実績9582億円)、自己資本利益率(ROE)18.0%以上(同15.6%)、営業利益率14.5%以上(同11.9%)を目指す。事業規模の拡大や収益力の強化に取り組む細田修吾社長に今後の戦略を聞いた。

—3事業をグローバルとす。国内で社  
ルビジネスセグメント 会インフラを提供する  
と位置付けました。ここで蓄積したノウハウ  
「精密・電子、エネ ウを世界で必要とする  
ルギ、建築・産業の 地域に展開するビジネ  
3事業について国内外 スモデルとしている」  
を区別せず、地球全体 成長投資に260  
を一つの市場と捉え事 0億円を投じます。  
業拡大する。規模・収 前3カ年の174  
益性・効率性で一定水 8億円から大幅に拡大  
準を確保すること盤 する。(半導体製造装  
石な3本柱を構築す 置などの)精密・電子  
る。その上でインフラ 事業を最優先とし、グ  
と環境の2事業を日本 ローバルビジネスセグ  
起点のビジネスセグメ メントである3事業を

荏原社長 細田 修吾氏



中心に充当する。基盤 資本水準を維持する観  
投資としては600億 点から継続的な自己株  
田を計画しており、統 式取得も検討する。今  
合業務パッケージ(E までよりも高い頻度で  
RP)などグローバル 自己資本水準を調整す  
経営を支えるインフラ 段階にある」  
整備に投じる」 —精密・電子事業に  
「ROE18%以上達 継続した投資を実施し  
成のため、最適な自己 ています。」

## 電子・エネ・建築3本柱

「半導体は市場変動 のスピードが早く、市 重要です。  
場拡大を確認してから の投資実行では遅すぎ ア構築を、より自分こ とがグローバル企業と  
のため、生産能力増強 と開発に対する先行投 資が不可欠だ。前中計 を含めて国内外で積極 的な投資を行い、生産 能力増強に加えオーバ ーホール工場の新設な どでグローバルなサポ ート体制を構築した。 今後もAI(人工知能) 実装を背景とした半導 体の性能向上などを受 けた成長が見込めるた め投資を継続する」

個人が成長しキャリア アップするための挑戦 を後押しする。自身の キャリアに主体的に取

—人材活用・育成も  
り組むキャリアオーナ  
—シッパの定着に向け  
た風土改革を進めるこ  
とがグローバル企業と  
しての成長に必要なだ」

「ROE18%以上達 継続した投資を実施し  
成のため、最適な自己 ています。」

### 記者の目

地政学リスク対応し成長継続  
35年までの長期ビジョンでは  
売上高2兆円以上、ROE25%  
以上、営業利益率20%以上を掲  
げる。グローバルビジネスセグ  
メントに経営資源を優先的に投  
下すること、収益性などを向  
上させる。市場変化や地政学リ  
スクなどに対応しつつ、グローバル企業と  
して成長を継続させる実行力が問われる。  
(松井美濃生)